

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第9週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (9 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 例、梅毒 4 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		都城	80歳代	男	結核性胸膜炎	咳
		日南	50歳代	女	結核性胸膜炎	咳、発熱、胸痛
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	50歳代	男	腸管アメーバ症	下痢、粘血便
	カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	胆管炎
	劇症型 溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	ショック、腎不全、DIC
	侵襲性 インフルエンザ菌感染症	宮崎市	20歳代	男	—	発熱、意識障害
			80歳代	女	—	肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
			60歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	女	早期顕症梅毒 I 期	初期硬結、膺粘膜疹
80歳代			男	無症状病原体保有者	なし	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,784 人(定点当たり 38.2)で、前週比 83%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症及び感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 363 人(6.3)で、前週比 78%と減少した。高千穂(11.0)、日向(8.7)、高鍋(8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

【インフルエンザ】

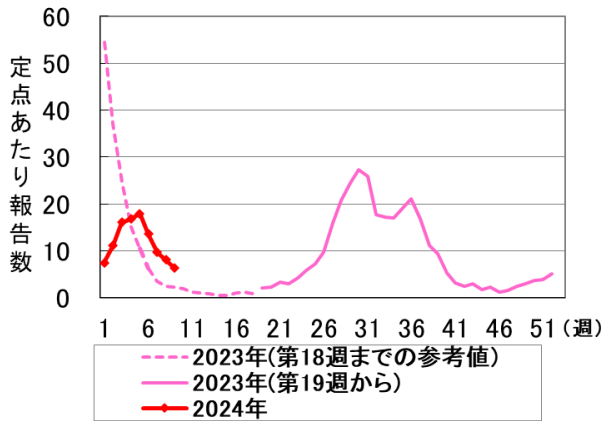
報告数は 844 人(14.6)で、前週比 72%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.3)の約 3.4 倍であった。延岡(20.3)、高鍋(19.7)、中央(19.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 9 割を占めた。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

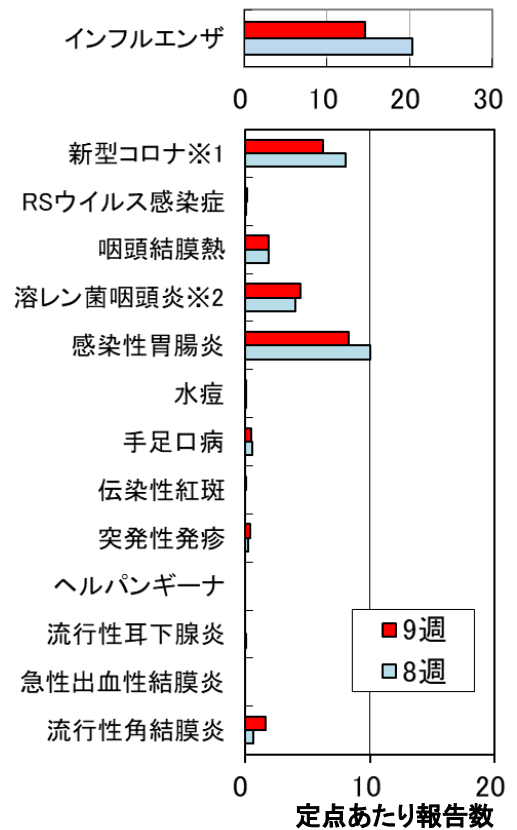
報告数は 160 人(4.4)で、前週比 111%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約 2.2 倍であった。日南(6.7)、都城(6.0)、宮崎市(5.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

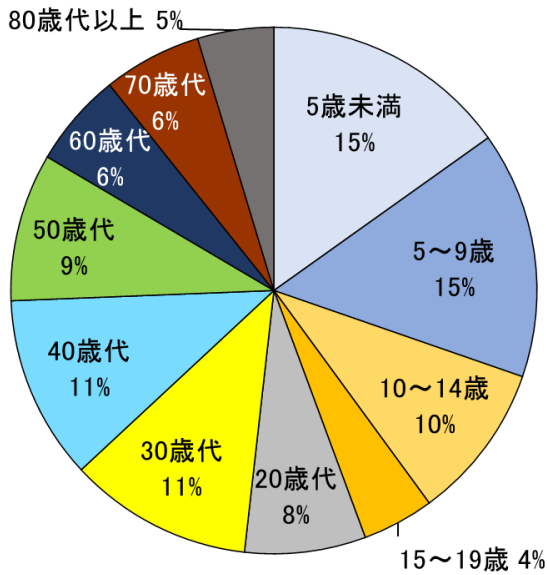


《前週との比較》



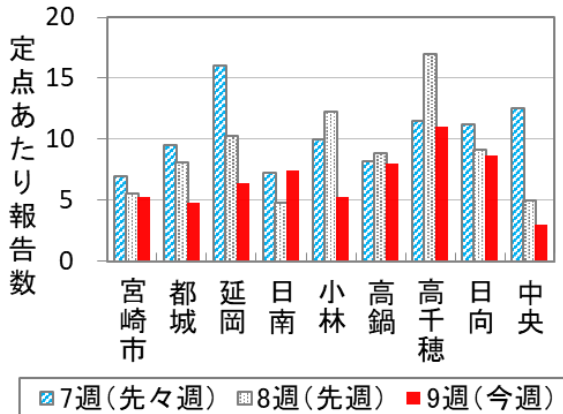
※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第9週)

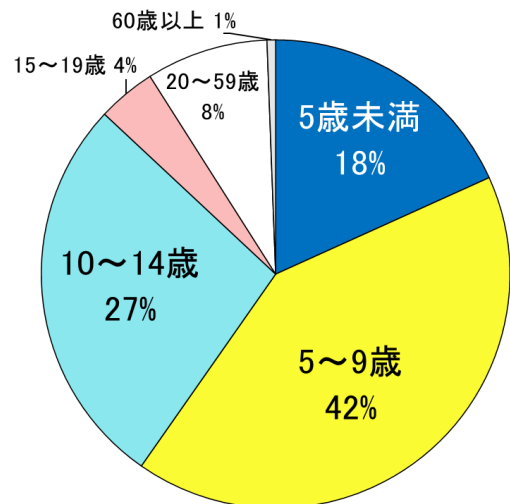


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

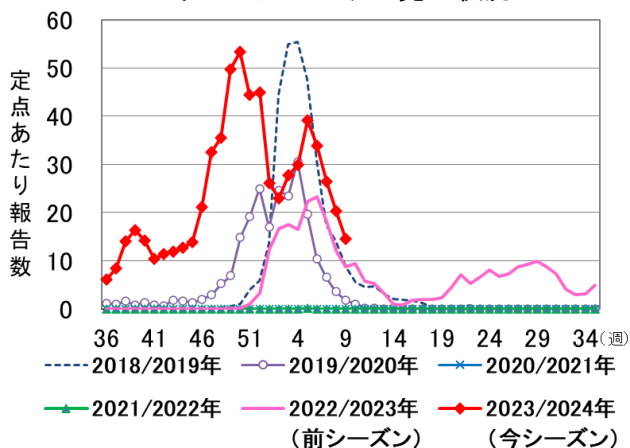
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



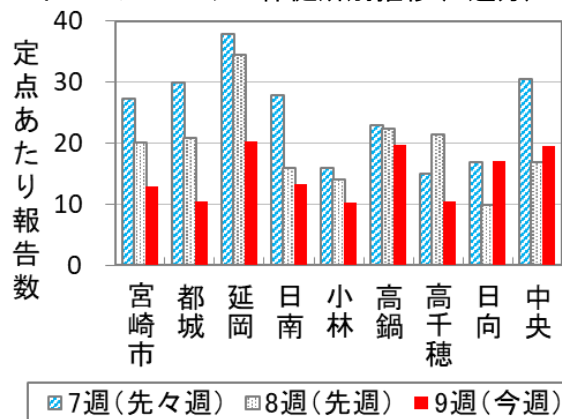
インフルエンザ年齢群別グラフ(第9週)



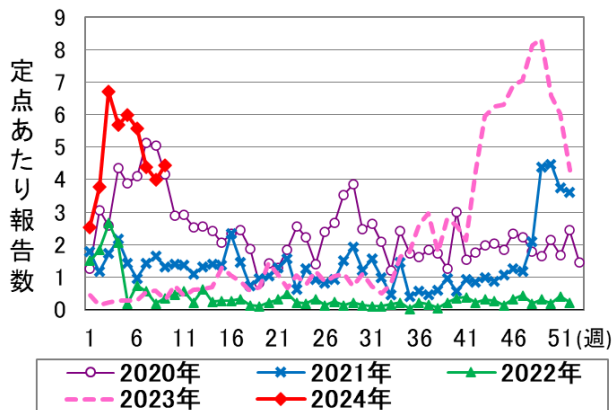
インフルエンザ 発生状況



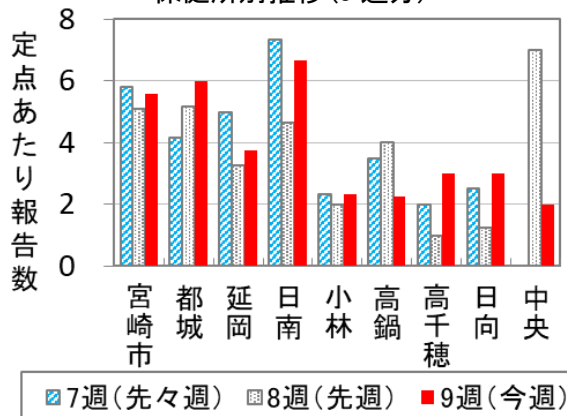
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(13.0)、咽頭結膜熱(3.0)
都城	インフルエンザ(10.5)
延岡	インフルエンザ(20.3)
日南	インフルエンザ(13.4)、咽頭結膜熱(4.0)
小林	インフルエンザ(10.3)
高鍋	インフルエンザ(19.7)
高千穂	インフルエンザ(10.5)
日向	インフルエンザ(17.2)
中央	インフルエンザ(19.5)、咽頭結膜熱(3.0)

流行警報レベル開始基準値
 ・咽頭結膜熱(3)

流行注意報レベル基準値
 ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年3月4日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EAggEC(O126:H27)	0～4歳	女	2024.01.30	発熱(37.3℃)、胃腸炎(血便)	便	2024.02.14

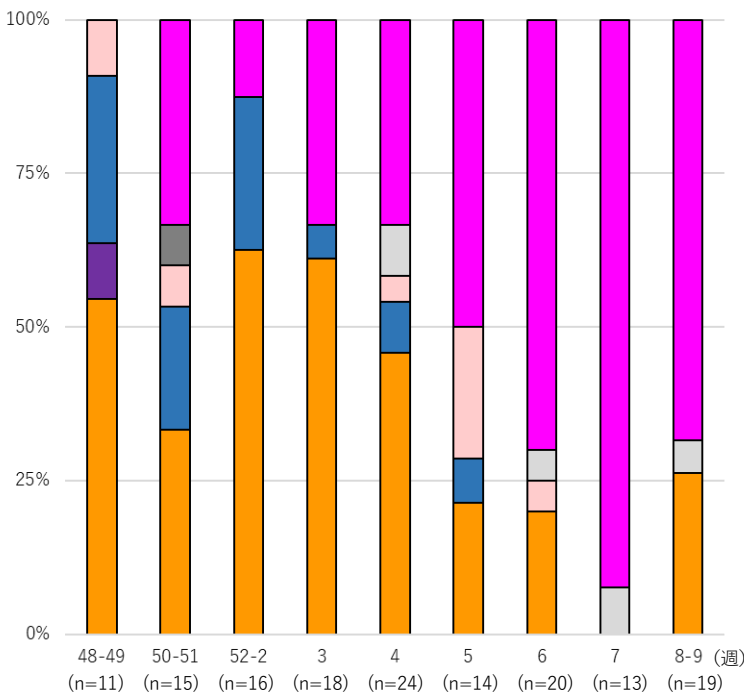
★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus B(Victoria lineage)	20歳代	男	2024.01.09	インフルエンザB型、39.3℃、頭痛、関節痛、鼻水、鼻閉	鼻咽頭ぬぐい液	2024.02.22
Influenza virus A H3	40歳代	女	2024.01.15	インフルエンザA型、37.6℃、上気道炎(咽頭痛)、咳、鼻水	鼻咽頭ぬぐい液	2024.02.27
Adenovirus3	5～9歳	女	2024.01.18	伝染性紅斑の疑い、39.1℃、発疹(紅斑)、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2024.03.01
Influenza virus A H3	30歳代	男	2024.01.22	インフルエンザA型、39.8℃、咳、鼻閉、痰	鼻咽頭ぬぐい液	2024.02.27
Influenza virus A H1pdm09	10歳代	男	2024.01.22	インフルエンザA型、39.7℃、上気道炎(咽頭痛)、胃腸炎(下痢)	鼻汁	2024.02.27

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合

- EG.5.1系統
- XBB.1.16系統
- XBB.2.3系統
- XBB以外のX系統
- BA.2.75系統
- XBB.1.9系統(EG.5.1を除く)
- XBB.1.5系統
- その他のXBB系統
- BA.2.86系統
- BA.5系統



○第8～9週でBA.2.86系統が約68%を占め、JN.1系統(BA.2.86.1の子孫株)は約26%を占めた。

※BA.2.86系統はBA.2系統の亜系統で、スパイクタンパク質はBA.2系統に比較して30以上、XBB.1.5系統に比較して35以上のアミノ酸の違いがある。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBBはBJ.1(BA.2.10.1系統) / BM.1.1.1(BA.2.75.3系統)の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2024 年第 8 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	190 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12 例	腸チフス	1 例	
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	1 例	エムボックス 1 例
	Q熱	6 例	つつが虫病	1 例	デング熱 3 例
	レジオネラ症	27 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例	急性弛緩性麻痺 1 例
	急性脳炎	15 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 26 例
	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性肺炎球菌感染症 37 例
	水痘(入院例)	8 例	梅毒	145 例	播種性クリプトコックス症 3 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳 7 例
	麻しん	1 例			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 85%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと新型コロナウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 82,741 人(16.8)で前週比 81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.3)の約 3.2 倍であった。石川県(24.9)、埼玉県(24.4)、北海道(24.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 39,124 人(7.9)で前週比 78%と減少した。宮城県(12.0)、茨城県(11.7)、岩手県(11.6)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第09週(02月26日～03月03日)

疾病名		第08週	第09週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1179	844	208	105	142	67	41	118	21	103	39
	定点当り	20.33	14.55	13.00	10.50	20.29	13.40	10.25	19.67	10.50	17.17	19.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	467	363	84	48	45	37	21	48	22	52	6
	定点当り	8.05	6.26	5.25	4.80	6.43	7.40	5.25	8.00	11.00	8.67	3.00
RSウイルス感染症	報告数	2	5	1						1		3
	定点当り	0.06	0.14	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	3.00
咽頭結膜熱	報告数	68	68	30	6	4	12	7	1	1	4	3
	定点当り	1.89	1.89	3.00	1.00	1.00	4.00	2.33	0.25	1.00	1.00	3.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	144	160	56	36	15	20	7	9	3	12	2
	定点当り	4.00	4.44	5.60	6.00	3.75	6.67	2.33	2.25	3.00	3.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	362	298	69	46	18	55	37	36	1	27	9
	定点当り	10.06	8.28	6.90	7.67	4.50	18.33	12.33	9.00	1.00	6.75	9.00
水痘	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	20	18	11	1	4						2
	定点当り	0.56	0.50	1.10	0.17	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
伝染性紅斑	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	10	16	8	3	2	1	1	1			
	定点当り	0.28	0.44	0.80	0.50	0.50	0.33	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	10	5	4	1						
	定点当り	0.67	1.67	1.67	2.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～9週 保健所受理分)

2類感染症	結核	15例(5)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	13例
				レジオネラ症
5類感染症	アメーバ赤痢	2例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1例(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例(2)
	梅毒	32例(4)		侵襲性肺炎球菌感染症

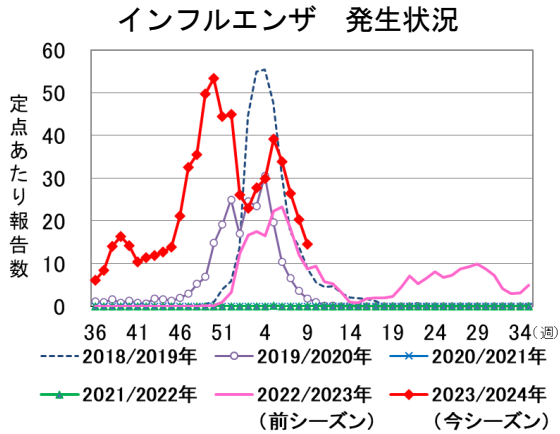
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第9週、全国第8週（再掲）》

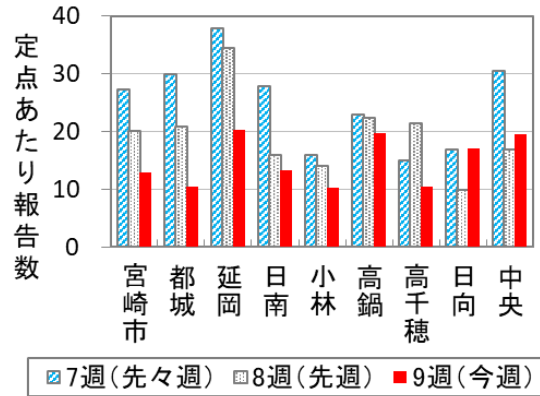
□ 県内第9週インフルエンザ発生動向

2月26日～3月3日までの1週間で844人(14.6)の報告があった。前週比72%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*(4.3)の約3.4倍であった。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

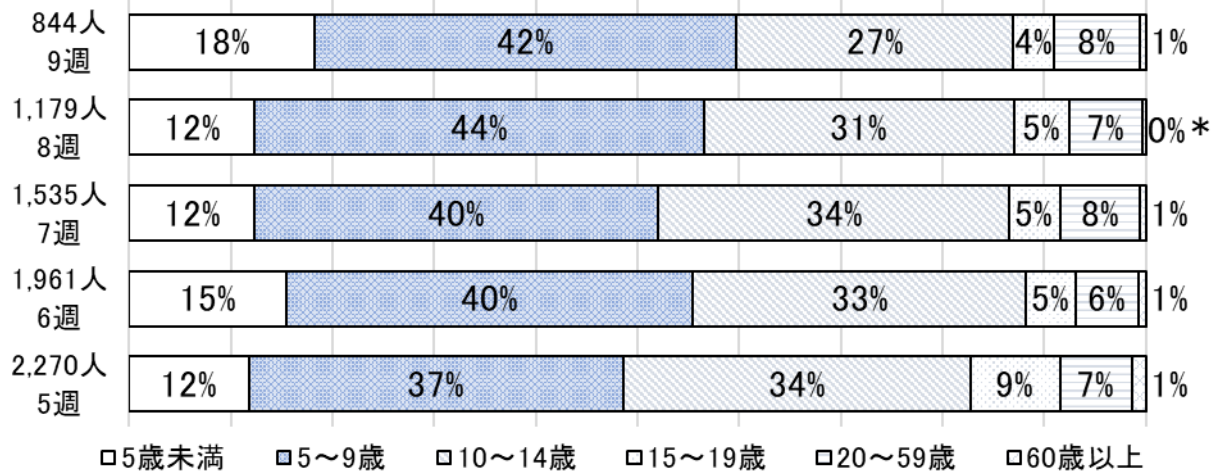


インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

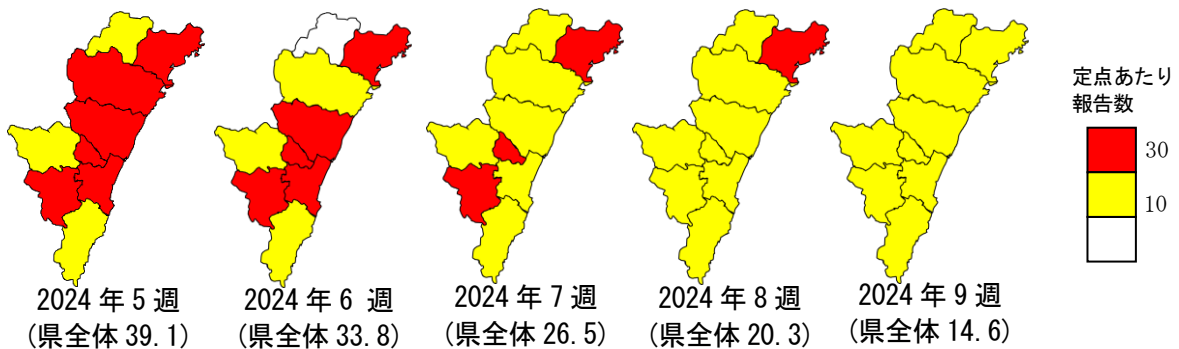


年齢群別割合の推移(2024年第5週～第9週)

* 60歳以上は0.5%未満



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第5週～第9週



□ 全国第8週インフルエンザ発生動向

2月19日～2月25日までの1週間で82,741人(16.8)の報告があった。前週比81%と減少し、石川県(24.9)、埼玉県(24.4)、北海道(24.2)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の12%、5-9歳が40%、10-14歳が30%、15-19歳が6%、20-59歳が11%、60歳以上が1%であった。